



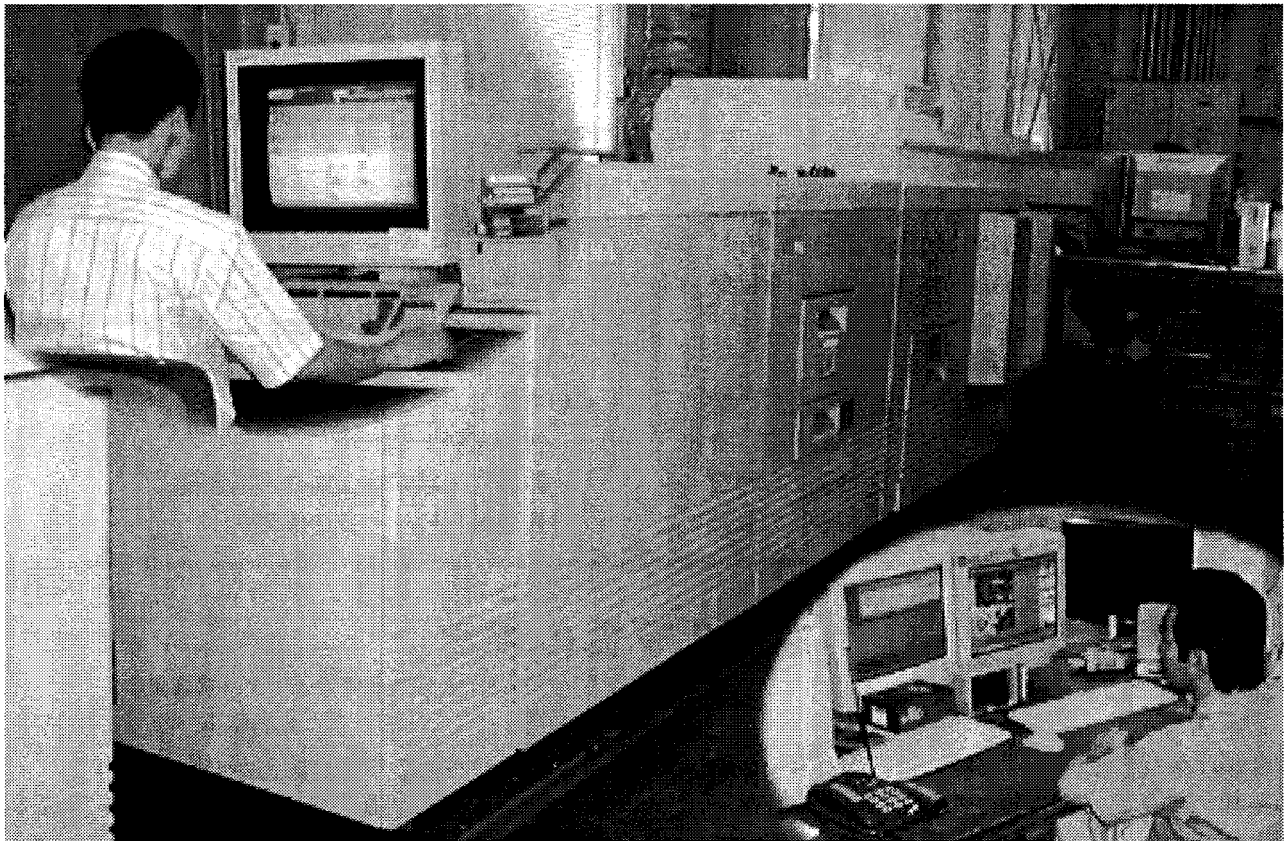
石川セルプニュース



(チャンス) 障害者に働く機会を!
 (チャレンジ) 挑戦する勇気を!
 (チェンジ) よりよい改善を!

NO. 3

発行
 石川県社会就労センター協議会
 編集
 会報研修委員会
 〒920-0946
 金沢市本多町3丁目1番10号
 (石川県社会福祉協議会内)
 TEL (076) 224-1212



福祉工場 デジタルプリント部門

施設紹介

石川県身体障害者福祉工場

石川郡野々市町末松2-239

印刷の「石川サニーメイト」縫製の「石川サニーメイト」として皆様には知られていますが、施設名は「石川県身体障害者福祉工場」です。一法人一施設の出発で法人名が通用していますが、昭和61年より「セルプはくさん」の運営管理を受託し今、法人組織の説明に努めています。

福祉工場も制度的には社会就労センターの一種ですが、企業的色彩が強く、地域の産業としての機能を有する雇用施設であり「福祉」と「経営」の二面があります。

又、労働権の保障「障害者雇用」はセルプの重要な役割です。利用者は法人と雇用契約を結び、全ての労働法規が適用され、労働者としての権利と義務を持っています。

事業部門では独立採算制が基本とされ、事業収入の中から最低賃金法による給与保障をしなければなりません。又あらゆる事業経費もそこから賄います。

事業部門には縫製課（婦人スカート、エプロン、ユニホーム等）、印刷課（帳票、新聞、冊子、チラシ、パンフレット等一般オフセット印刷）、デジタルプリント部門（オンデマンドプリント）、福祉機器販売部門があります。

デジタルプリント部門は、お客様の短納期、小ロットのご要望に応えるべく昨年発足し、今、新しい展開を目指しています。

勤労意欲と一定の作業能力を持つ障害者達が職業を通じて自立するため、メンバー・スタッフが一丸となって、社会の動向を把握しながら日々頑張っています。

～ 翔点 ～

“セルフする意志！”考

学園の柱に宣言“セルフする意志”のポスターが貼ってある。出勤の度に“頑張ろう”と全国のセルフの仲間のエールが聞こえるようで身が引き締まる。素晴らしいポスターを作成されたものと感心し感謝している。ところが、我々も頑張っているにも関わらずフェアでの売れ行きの伸びがない。セルフに加盟している意味があるのか??と自問する。セルフの委員をしている職員からはセルフの研修会は為になると聞く。意欲的な職員、セルフ協のリーダーの方々に期待が膨らむ。今は春の到来を待ち何時の日か翔び立ちたい。今は厳冬。大切な道程と思う。

セルフ商品“うめの木舞茸”について

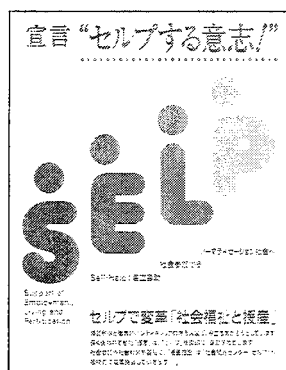
木々を渡る風の音、静寂の中にも森には森の歌があります。木々の語らい、小鳥のさえずり、そんな自然の歌を聞きながら、約35日間静かな時を過ごし、今、みずみずしく艶やかに、そして稟と

うめの木学園通所部

施設長 橋本 信子

して育った“うめの木舞茸”。

この舞茸が注目されるのは、体内で発生と消滅を繰り返している癌細胞を免疫機能を活性化させる働きで、病魔を抑制してくれるという素晴らしい成分が含まれているからです。



舞茸を日常生活の食事でする場合、1週間で100g程度を、健康が気になる場合は、1日に20～30gを継続的にとるようにします。

<参考資料>

神戸薬科大学教授

難波宏彰農学博士監修産経新聞

及びNHK「今日の健康」

中央セルフ協の働き

全国社会就労センター協議会

総務委員 今 英男

全国社会就労センター協議会結成20周年記念誌の発刊を契機に、協議会の歴史を認識したスタッフも多いことであろうと思われる。全国法人、施設へ配布された記念誌は是非に全てのスタッフに読んでいただきたい。セルフ協20年の歩みは、人権と障害者自立の歴史であり、福祉専門職にとってまたとない教材であるからである。その闘争と苦難の歴史は、日本文化と知性の証として記憶されるべきである。今語られている「社会福祉基礎構造改革」はまさに21世紀日本の社会構造の構築である。慎重に見守りたい。

8月5日に中央で、総務委員会が開催される。最重要議題は組織強化である。新潟に於ける全国大会でも、基礎構造改革に於けるセルフ協の位置づけと制度的「ありかた」が議論される中で組織の強化が強調された。全国会員、非会員一覧表による分析においても、都道府県別会員%は、愛知94.3%加盟に対して三重12.5%、新潟14.7%、鳥取14.7%等、まだまだ組織に対しての取り組みは虚弱であり、組織加盟特別プロジェクト対策が発したばかりである。そんな中であって石川は80.0%と高加盟率が報告されたが、後の20%はど

うすべきか今後の努力と協力が必要であろう。

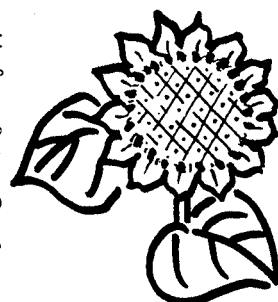
協議会もセルフ通信でご承知の様に、斉藤新会長を迎え、今一層の組織強化対策がすすめられる。行政改革の一連の中にある厚生省・労働省合併問題にも、セルフはしっかりと主張せねばならない。

先般の福祉工場部会に於ける労働行政との話し合いにおいても、大きな変革を迫られそうである。施設利用者中心の施設のあり方と福祉専門職のサービスの質のあり方が、今明確にされようとしているのであり、その為にも組織の強化と強力なスタッフのプロ集団が必要とされているのではなかろうか。

「人間復権」から始まった運動は今新しい展開をしながら、「人権宣言」そして、ノーマルな社会実現へと進みつつある。

基礎構造改革をより内容のあるものとして、セルフは変わらなければならない。

先ずわたしから、そしてスタッフ方々の基礎意識の改革が必要なのではなかろうか。



とん!とん!とんからいんこ! 磯組の拡大

販売促進・共同受注部

瀧 邦晴

金沢と加賀の2地区のセルフフェアが終了しました。売上額は別紙の通りであります。何れも前年を2割程度上乗せすることができ、お買上げ頂いた方々や協力して頂いた方々、そして参加施設のメンバー、スタッフに厚く感謝申し上げます。セルフショップの売上も合算すると、全体で目標額の約1/4。経済環境が大変厳しい中において一層のご協力をお願い致します。

基本的には廉価・高品質の良いモノを創りながら、売れるための仕掛けも特に工夫して行く必要があります。店にはモノが溢れています。しかも素晴らしいモノが溢れています。

本年よりフェアの際、お店の担当者の方に、ディスプレイの善し悪しの批評をお願いしております。『本当に育てて頂きたいので、曖昧模糊のアドバイスよりも忌憚のない意見を下さい。』って頼みました。是非参考にして改善改良を推し進めて欲しいと思います。

今秋、福井県との合同セルフフェアを企画しております。これは、昨年の交流会の席上出た意見の具体化であります。先日、福井県の担当者と打ち合わせをして来ました。8月中旬以降に合同企画会議を開催します。互いの商品、販売員の力を活用し、経済環境の厳しい中、現状を打ち破る強力な仕掛けとなるよう企画して行きたいと思えます。

今、調査広報部会では

調査・広報部 丸山 秀樹

現在、調査・広報部では、『平成9年度社会就労センター実態調査』の集計と分析、まとめを行っています。

今回の調査では、これまでの調査項目に加えて、セルフに関する意識調査や商品に関する事項の調査を新たに盛り込みました。セルフ事業に対して、石川県内の施設が、今どのように考え、どのような事業を押し進めているのか。そして、その実態はどのようになっているのかを、なるべくわかりやすい形でまとめようと考えています。

最後に、忙しい事業の最中にも関わらず、各施設におきましては、今回の調査に対して、多大なご理解とご協力を頂きまして、紙上をお借りして、深く感謝申し上げます。

10年度 売上一覧

区分	イベント名	売上額	備 考
フェ ア	第1回セルフフェア	911,426	6/19~21 3日間・18施設 昨年売上げ 769千円
	第2回セルフフェア	740,254	7/18~20 3日間・17施設 昨年売上げ 648千円
	小 計	1,651,680	1,417千円
シ ョ ッ プ	トヨタオート記念フェア	68,645	5/17~18 2日間・8施設
	ゆうあいピック	559,322	5/31 1日間・12施設
	保育研究大会	108,925	7/17 1日間・10施設
	星が丘コンサート	61,100	7/26 1日間・5施設
	小 計	797,992	
合 計		2,449,672	

今後のフェア・ショップ(予定)

区分	イ ベ ン ト 名		
フェ ア	第3回~6回	能登地区2回 金沢地区1回(福井合同開催) 加賀地区1回	
シ ョ ッ プ	9月 9/26~28	南陽園バザー 部落解放研究第32回全国集会	加賀市/南陽園 金沢市/産業展示館 参加人数1万人
	9月	福祉まつり	羽咋市/
	10月	第47回県福祉大会	穴水町/
	11月	若草福祉祭	金沢市/
	11月	コマツフェスタ	小松市/
	11月	いしかわ学びフェスタ	
	11月	舞臺者ふれあいフェスティバル 生協まつり	金沢市/

バーコードについて

商品開発・管理部 斉藤 晃宏

今年度より、いくつかのセルフショップ出店において、バーコードレジスターを導入し、売上げ管理を行っています。このことにより、集計に伴う作業時間が大幅に短縮し、集計されたデータの分析も容易に行え、商品管理という点では大きく前進しました。

ここでもう一步前進するために、食品衛生法やPL法で定められている期限表示や栄養成分表示、警告表示の記載を徹底することとしました。このことは振興センターが考える“セルフ商品イコール安全”というイメージを消費者に持ってもらうための一つの手段になると考えています。

各商品への記載については、現在バーコードプリンタが1台しかなく不便をかけていることもあり、ラベルの印刷が可能なバーコードプリンタを新規購入し対応することにしました。具体的な導入時期はまだ未定ですが、設置場所は食品関係の商品が多い、金沢地区、能登地区に1台ずつ設置し、従来のものは加賀地区ということになりました。

今後も商品開発・管理部では、消費者に対して“セルフ商品イコール安全”というイメージを抱かれるような方法を考えていきますので、よろしくをお願いします。

ジャスコ松任店にて 第1回セルフフェア開催

6月19日(金)～6月21日(日)の

3日間ジャスコ松任店にて、今年度最初の「セルフフェア」が開催されました。前年度までは「セルフバザール」の名称で知られていましたが、今年度は名称変更に伴い、今回新たな様々な企画が実施されました。



毎回セルフフェアでは大変な人が訪れますが、未熟な私達にとって、レジでの混雑は何度も経験されているのではないのでしょうか。今回から新しくバーコードが導入され、レジでの対応がスムーズに進められたほか、お客様に対する対応にも余裕が生まれたのではないかと思います。ただ、レジでの混雑は解消されつつありますが、直接販売員に商品を手渡し、会計を済ませるといったお客様が多く、そこからレジでも慌ただしい場面が何度か見受けられました。お客様をレジまで導く場所作りと、私達のバーコード・レジへの経験が今後の課題として残りました。


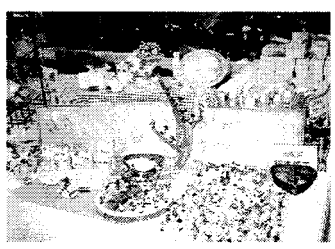
また、今回のセルフフェアの日程は、父の日と

松の実園 橋本 貴志

重なることで、20日(土)・21日(日)の両日には、金城短期大学の学生による似顔絵コーナーを催しました。金額も300円よりということと、他の似顔絵コーナーよりも格安ということも手伝ってか、予想をしていた通り、たくさんの家族連れが利用し、同時に、似顔絵を即Tシャツにプリントできる「パパT」も大盛況のうちに終わりました。次回からのセルフフェアでも、このような季節感あふれる催し物を実施できたらと考え、それに伴い、セルフフェアに対するマンネリ化も、改善できたのではないかと思います。

さて、セルフフェア本来の商品を売ることに關してですが、目標額には惜しくも届かず、今回の担当施設といたしまして、大変申し訳なく思います。しかし、新たなセルフフェアという意味では、上々の第1歩を踏み出せたのではないかと思います。セルフの商品をお買い求め下さった方に感謝致します。今後とも、各々セルフのご支援を宜しくお願い申し上げます。

BEST 1	聖ヨゼフ苑	商品陳列 ベスト4	聖ヨゼフ苑	BEST 2
お菓子 (グリエ・ヘルシーチャル)			写真入れ・写真立て	
 <p>「ヘルシー」を全面に出し、また、商品の真ん中に説明・発行所が明記されているので、消費者も理解しやすい。周りのポップも、強調されるものが赤字になっていて、見ていて説得力を受ける。試食にもフタがしてあり、ホコリ対策にも配慮を促している。</p>		<p>第1回セルフフェアにて</p> <p>今回のセルフフェアにて、商品の陳列方法、パッケージ・ポップの扱い方などを総合的に判断して、ベスト4を選んでいただきました。選考者は、ジャスコ松任店販売促進課長 浜松俊明さんにしていただきました。浜松さんの「独断と偏見で選考しました」とおっしゃってましたが、その道のプロであり、納得できる部分がたくさんあります。今後のイベント等で参考にしてください。</p>	 <p>ポップの紙の色が統一されており、字体も色が混ざっていない、非常に見栄えがよい。陳列も専用の台などを利用して、立体感を出すことにより、薄い写真立てがきれいに、大きく見える。</p>	

BEST 3	セルフはくさん 短冊満てん星	南陽園 銀杏細工	BEST 4
 <p>これからの季節に即しており、新発売のポップが季節感をさらに際立たせる。また、地球にやさしいということと、現在話題の再生紙を利用。同じ話題性として、新聞の切り抜きを張り出しているところに1つのつながりを感じ、共感を持てる。</p>		 <p>初めは単に商品陳列 onlyであったが、シーンをだすため木を使い、動きを見てもらうためセンプーキを使って動きを強調しただけで売上up。</p>	

平成10年度
 全国社会就労センター総合研究大会 参加報告
 6月17日～19日に新潟市で開催された標記研究
 大会(分科会)での質疑と討議の概要を報告致し
 ます。

**第1分科会：テーマ『障害者施設体系見直しとセ
 ルブ協の今後の取り組み』**

- ①措置制度から自由選択による契約制への移行
 が考えられているが、現実問題として、選択
 出来る社会資源があるかという点、現状とし
 ては、NOと言わざるを得ないこと。
- ②現状縦割りの法体系下での38種類もの複雑な施
 設をどう整備し、相互利用をどう推進するの
 か。
- ③施設の格差、即ち、措置施設か利用施設か訓
 練施設か継続利用施設か、通所か入所か、法
 定施設か無認可施設かによつての著しい格差
 をどう解消するのか。また、精神障害者施設
 は補助金制度で運用され、措置施設とは大き
 な格差が生じている。
- ④働くことを生活の軸としえない重度、重複、
 重症の人々にとって、社会参加と生きがい
 を重視した『活動センター(仮称)』の創設と、
 この施設利用者の夜の生活の保障をどうす
 るのか。また、どんなに障害が重くても地域
 で生活出来るようにするのが、最終目的であ
 ること。
- ⑤施設が人口密集地に偏在することなく、障害
 者一人ひとりのニーズに答えていくためには、
 小規模複合施設で、多機能を合わせ持った複
 合施設として整備していくことが現実問題と
 して最も有効で可能性が高いのではないかと
 思う。
- ⑥それぞれの地域で重要な役割を担っている小
 規模作業所を公的な制度として確立し、支援
 を図ることが急務であること。

[報告：湊氏]

**第2分科会：テーマ『障害者地域生活支援活動の
 検討の動向とセルフ協の今後の取り組み』**

- ①生活支援センターの役割について
 地域のハード及びソフトを有効に活用した
 メニューを沢山用意しておく。例えば、入所
 施設にショートステイしながら、昼間は今ま
 で通っていた通所施設で仕事をしたい場合、
 入所施設で送迎が出来ないから無理というこ
 となるが、その部分(送迎)を生活支援セ
 ンターが行うことで可能となる。一つの施設
 なりがその人の全てを抱え込もうとすると無
 理出来るが色々なところで分散してその人
 のサービスにあたることは可能となってくる
 し、施設も考え方を変わってくるようになる。
 生活支援センターは資源と資源をつなぐ架け
 橋である。
- ②障害児・者サービス調整会議について
 障害のある方や家族の個々の要求に対し個
 別に対応するのではなく、福祉圏内の課題と
 してとらえ対応していくこととし、保健・福
 祉・教育・行政機関等が参画してサービスの
 総合的な調整及びプランニングにあたる機
 関である。コーディネーターが地域の色々
 な問題を持ってきてサービス調整会議の中
 でケアチームを構成し、アセスメントや
 プランニングをし、全体会議で承認しサー
 ビスを提供する。又、地域の中で不足して
 いる資源をプロジェクトチームを作り推
 進していく。地域の課題に対し、新しい
 資源を創ったり、提言をしていくことも
 役割の一つである。

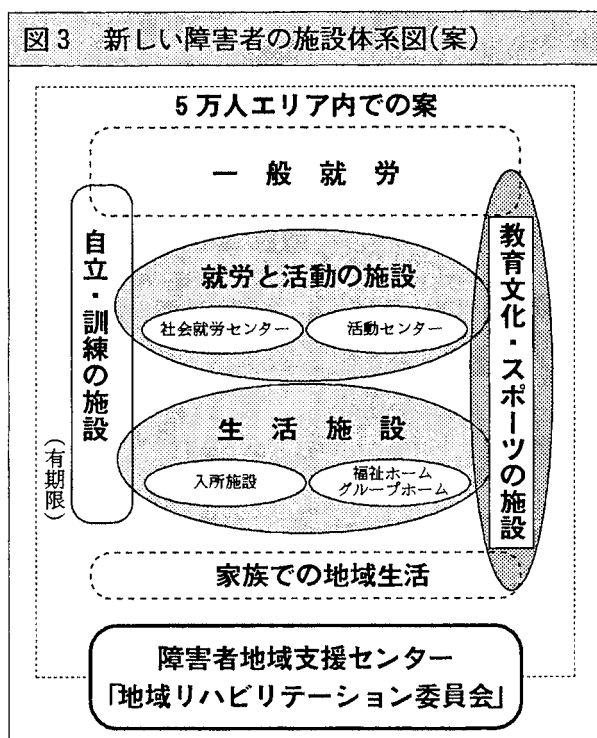
[報告：川原氏]

**第3分科会：テーマ『社会就労センター事業振興
 の現状と今後』**

- ①手数料の問題では、少しずつ手数料(全国平
 均8%、中央セルフ振興センター20%)が
 なくなつてきており、商品によっては原価
 を割ってしまうとの意見が出たが、これは
 最初の値段設定が誤っており、工程分析
 や材料の仕入先などを再検討し、原価を
 下げる努力が必要である。一般のスーパー
 などで商品を買ってもらう場合、売値の
 40%ぐらいの価格で納入しないと、大
 量に商品を買ってもらえない現実もある。
- ②販路拡大という点において、大阪振興セ
 ンターから事例が発表された。
 昨年11月から、大阪府下の遊技場組合
 (パチンコ店1,500店加盟)に、あまり玉
 の景品として、セルフ商品を使ってもら
 っている。これには安い価格の商品が大
 量に必要となるため、何施設かで分担
 して製造するが、同一の品質の商品を
 提供できるようにマニュアル化して実
 施している。
- ③今後という点で、中央セルフ振興セ
 ンターの社団法人化を目指しているが、
 現在の組織率が40%なので認可されな
 い。今後、多くの施設が中央セルフ振
 興センターに加入し、組織率をアップ
 し、認可されるよう努力していきたい。
 又、各都道府県においても、法人化に
 向けて努力していただきたい。

[報告：斎藤氏]

図3 新しい障害者の施設体系図(案)



伝言板

— 中央セルフ協に加入しよう —

今、中央セルフ協では会員加入促進キャンペーンを行っています。

国・行政に対する発言権を高め、又社会就労センターと言う同一施設のレベル向上を図っていくため、加入率100%を目指して促進しましょう。

目標 12月までに加入率 70%
 現在 石川80% 愛知94% 秋田93%

【福祉豆辞典】

☆処遇とは

社会就労センターにおいては、その第一義的な目的である「就労機会の提供」を処遇の原点として、あくまで対象者の個性・独自性を尊重したサービスを提供することである。

☆セルフ（社会就労センター）とは

障害のある人達が働く施設のことをセルフ（社会就労センター）といいます。ここでは働く意志がありながら、職業に就く機会に恵まれない人達を対象に、社会的自立のための訓練や経済的自立支援をするために生産・販売活動を行っています。

セルフとは、英語で自立自助を意味するSELF-HELPの造語で、障害を持つ人が自立をめざして働くことに挑戦するという願いが込められています。

☆セルフ振興センターとは

セルフ（社会就労センター）活動の充実を図るために、施設間の壁を取り払ったセルフフェアの開催、セルフ製品の紹介、斡旋や委託作業の受注拡大などの事業を展開し、施設利用者の賃金水準の引き上げ、経済的自立、社会参加の促進を支援していく団体です。

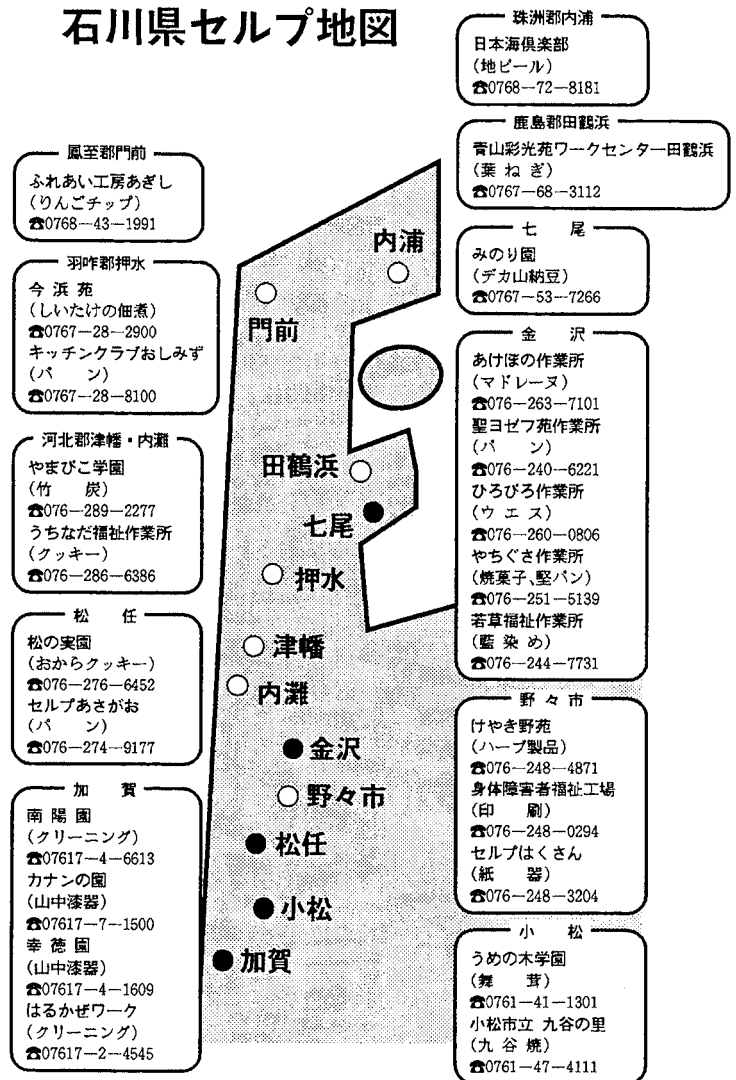
石川県社会就労センター利用者数

平成10年8月1日現在

種別	定員(人)	現員(人)	充足率(%)
A. 知的障害	721	698	97
A. 身体障害	333	273	82
B. 小規模	193	167	87
A. 精神障害	20	20	100
B. 精神小規	266	219	82
合計	1,533	1,377	90

A：会員施設 B：準会員施設

石川県セルフ地図



編集後記

セルフニュース翔、年4回発行予定です。今年度は、あと12月と3月に発行します。

県内セルフ施設の情報発信・情報交換の場として誕生したセルフニュース。このセルフニュースが、施設が助け合い、よりよいものを目指すための一助になればと思っています。ただ、商品販売、売り上げ等の目に見えるものを目指すだけでなく、障害のある人一人ひとりの価値等、目に見えないものも大切にしていって、そんなセルフニュースにしていきたいと思っています。

御意見、お問い合わせ、下記編集委員まで

発行責任者 湊 孝次郎
 編集委員長 達本美智子
 副編集委員長 今 英男
 編集委員 笠間 信彦 吉村 郁栄
 松田 紀江 西 昌美
 岩川 純子